



町政を問う

質問者



重川 利春 議員

問 合併をしない、当町の将来に向けての展望は

合併をしない松前町となつて一年余りが過ぎました。住民には、説明会をし、十分に理解を得ることができました。16年度を迎え、事務事業検討委員会及び改革会議を立ち上げ、行政運営の方法、制度の見直しを行い、その結果が公表されました。合併しなくても、小さくても、そこに住む人が活気に満ち、心豊かな生活を提供できる町づくりに向け英断を期待します。

答 最適なライフタウンを目指す

答弁 白石町長

合併協議が壊れた後、単独でまちづくりをするという決意表明し、議員の皆さんの賛

同も得て、16年度から自立するための改革に取り組んできました。行政改革推進本部を中心に事務事業を見直し、その結果を一月に冊子をつくつて、住民にお知らせしました。国の三位一体の改革により非常に厳しい財政状況が予想されるため、第5次の行政改革大綱を作成し、さらに行政改革を進めてまいります。住んで良い、暮らして良い、働く場所もある快適なライフタウンを目指します。

問 地域防災活動の整備は

昨 year 上陸した台風は例年にならない多さ、中越地震、スマトラ島沖地震、大津波、本県でも東予地方の豪雨災害の発生と、危険が近づいているような気がします。

各種災害は方程式通りでなく全く予想もできない状態で襲ってきます。画一的な対策ではものの役に立たないことを認識し、現実と、地域に則した対策、避難所の設定等々、防災対策の充実、強化についての考えはどうか。

答 住民とともに災害に強いまちづくりを目指す

答弁 吉田総務課長

今後予想される東南海、南海地震については、地震発生時に倒壊家屋、火災の発生等の救出、救急、消火活動や津波に対する避難の勧告や指示の基準、情報等の伝達方法などに関する事項を地域防災計画に定めます。今後、この計画に準じた防災訓練などを行い、いざというときに備えます。現在、自主防災組織はできていません。区長会などを通じ結成の働きかけをしています。17年度に、さまざまな災害情報を載せた防災マニュアルを作成し、各家庭へ配布します。

問 子供の地域意識・ふるさと意識の欠如は

昔は、異年齢の子供が入りまじって遊び、その中で子供社会の秩序が保たれていました。又地域活動を通じ、地域に学び、地域と交流することが人間形成の上からも大変望ましいと思っています。今後の様な方策をとるのか。

答 地域社会に関心や愛着・寄与の気持を

答弁 赤星教育長

異なる年齢の子供たちが、公共施設で一週間共同生活を送り、そこから通学する体験学習、通学学習を17年度から松前小学校4年生から6年生まで28名を対象に実施します。奉仕活動、体験活動は、子供たちに豊かな人間性をはぐくむだけではなく、地域社会への参加や地域連帯感の育成に重要な役割を果たします。中央公民館、地区公民館、分館をはじめ、関係機関・団体等と連携・協力を強化し、子供たちの健全育成を一層推進します。

